

令和八年

生命の言葉

七月

人間というものは神からの賜りものであるからこそ、社会の安寧と平和を守り、その維持を実現していく責任がある。

人は乃ち天下の神物なり  
須らく静謐を掌るべし

度会 行忠

鎌倉末期の神道家で、伊勢神宮外宮の神官。神を仏より上位とする「伊勢神道」を体系化し、神道の独立性を主張。後の神道思想に大きな影響を与えた。

度会 行忠

神社は心のふるさと

未来に受け継ごう「美しい国ぶり」



宮中三殿のうち皇霊殿でお祭りが行われ、天皇皇后両陛下をはじめ皇族方がご拝礼なされます。伏見桃山陵においてもお祭りが行われます。